

# 薬物依存からの回復

## ～ サバイバーからのメッセージ～

日 時 : 2009年12月7日(月) 14時半～16時10分

場 所 : 京都文教大学 普照館 F302

### その1 「薬物依存症のリハビリテーション施設 京都ダルクの活動」

講師 加藤武士

薬物依存から回復したいと望む人々が集う「京都DARC」の活動を自らも薬物依存症当事者で回復者である加藤武士施設長が紹介します。

### その2 「薬物依存の回復者からのメッセージ」

講師 「京都DARC」のメンバーが体験発表を行います。

芸能人の薬物使用がメディアを騒がせたり、大学生が薬物不法所持で逮捕されるなど、薬物依存症の問題が現在大きくとりあげられています。そのなかで若者の薬物汚染は拡がりを見せており、2008年に大麻取締法違反容疑で逮捕・送検された者は過去最多の2778人で10年前の2倍、20代が6割を占めており、薬物依存はもはや「他人事」ではなくなっています。今回の講演会では「薬物依存症とは何か」「薬物依存症からの回復はどのようにして行われているのか」について、薬物依存当事者で回復者である「京都DARC」のメンバーとスタッフが皆さんに語ります。当事者からのメッセージに耳を傾けるとともに、身近な問題である薬物依存について考える機会としたいと思いますので是非、参加ください。参加はどなたでもできます。



主催・共催：

臨床心理学科、産業メンタルヘルス研究所、人権委員会

問合せ 0774-25-2527 (担当：村山迄)



人権スタンプラリー対象講演会